

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	音楽	学年	3	担当者	上野 道夫 細田 美幸
----	----	----	---	-----	-------------

◇ 音楽科の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
6	日本語の美しさを表現しよう (3時間)	11	地域や時代による音楽の違いを味わおう (2時間)
7	曲の背景を知り楽曲を味わおう (3時間)	12	日本の音楽を味わう (4時間)
8	詩の心を豊かに合唱表現しよう (5時間)	1	日本の歌・世界の愛唱歌に親しもう (4時間)
9	世界の愛唱歌に親しもう (4時間)	2	詩の心を豊かに合唱表現しよう (5時間)
10	言葉と旋律の創作を楽しもう (4時間)		
	詩の心を豊かに合唱表現しよう (5時間)		

◇ 評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法	%
関心・意欲 態度	音楽に関心を持ち、意欲的に学ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での意欲課題に対する到達度 定期テスト ワークシート、楽譜書込み 	25
表現の創意工夫	楽曲の特徴を生かすための表現を自分の思いや意図をもって工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での創意工夫課題に対する到達度 定期テスト 	25
表現の技能	表現に必要な基礎的基本的な技能を使って演奏することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での課題に対する反応観察 実技発表での技能課題に対する到達度 	25
鑑賞の能力	楽曲の特徴や自分が感じたことを言葉にすることを通して、より深く味わうことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業での発言内容 ワークシート 定期テスト 	25

◇ 学習のアドバイス

各題材で、『聴く・感じ取る・考える・表現する』という一連の流れを意識して、自分から進んで学習に取り組むことが大切です。特に3学年では、既習事項と自分の考えを関連させて総合的に音楽を捉えたり表現したりしていくことが最終目標となるので、さらに積極的な姿勢が必要です。